



拡張DVD-RAM/Rユニット 取扱説明書



このたびは日本デジタル家電拡張DVD-RAM/Rユニットをお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。
お求めの拡張DVD-RAM/Rユニットを正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後はいつもお手元においてご使用ください。
シリアル番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、シリアル番号と保証書のシリアル番号が一致しているかご確認ください。

Rev.5.00(2002.10.28)



株式会社 日本デジタル家電



0120-498-798 <http://www.rokuraku.com>

必ずお読みください

電気製品は安全の為の注意事項を守らないと、火災や人身事故につながる恐れがあります。事故を防ぐための製品の取り扱い方法と「安全上のご注意」事項が、この取扱説明書に記載されておりますので、よくお読みの上、安全にご利用下さい。

大切な記録の場合には、必ず事前にためし録りをし、正常に記録されていることを確認してください。

万一不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償についてはご容赦ください。

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断では使用できません。

箱の中をお確かめください

にチェックしながらお確かめください。

- ✓ 拡張DVD-RAM/Rユニット取扱説明書(1冊、本書)
- 拡張DVD-RAM/Rユニット本体(1台)
- 拡張DVD-RAM/R接続ケーブル(1本)
- AC電源アダプタ(1本)
- ハードウェア保証書(1枚)

その他の注意事項

拡張DVD-RAM/Rユニットをお使いになるにあたって

本機は、弊社製品：ロクラク(外部拡張インターフェース搭載モデル)の拡張ユニットとしてご利用頂く事ができます。本機をロクラクに接続してお使いいただく場合のロクラク側の操作及び、取り扱いに関しては、ロクラク取扱説明書(CD-ROM版、印刷版)を参照ください。また、最新の取扱説明書につきましては弊社インターネットホームページ(URL: <http://www.rokuraku.com>)にて掲載しておりますのでご覧ください。

保証とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際必ずご確認ください。また、お買い上げの際のレシートは保証期間の確定をするための資料として必要となりますので、保証書と共に大切に保管してください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

この製品の修理サービスは、センドバック方式を採用しております。詳しい内容につきましては、同梱の保証書をご覧ください。

具合の悪いときはサービス窓口へ

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- ・ 型名：
- ・ 購入年月日：
- ・ 故障の状態：できるだけ詳しくお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

お客様による部品交換・修理・改造・分解を行った場合(あるいはその痕跡が認められる場合)、保証対象外となりますのでご注意ください。その為、この製品がお手元に届いた際、必ず損傷等がないことをご確認ください。詳しくは保証書をご覧ください。

この製品は当社での修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきますので、ご協力ください。

サービス窓口のご案内

お買い上げいただいた拡張DVD-RAM/Rユニットは、お買い上げ日より1年間、サービス窓口で保証サービスを行っております。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一、故障などの不具合が生じた場合や、接続や操作の方法がわからない場合は、当社サービス窓口にお問い合わせください。

また、製品に対するご意見なども、お気軽にお寄せください。よりよい製品作りに生かしていきたいと考えております。

今後とも株式会社 日本デジタル家電の製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

操作、故障に関するお問い合わせはサービス窓口へ

E-mail アドレス	help@rokuraku.com
電話番号	 0120-498-798 (修理サポート係をご指定ください)
FAX 番号	03-5308-5081
サービス時間	10:00 ~ 17:00 (土曜・日曜・祝祭日を除く)
URL	http://www.rokuraku.com

目次

安全上のご注意	4
取り扱い上のご注意	6
・本機の取り扱いについて	6
・本機のお手入れについて	7
・メディア(媒体)の取り扱いについて	7
・メディア(媒体)のお手入れについて	8
・その他の注意事項	8
・ユーザー登録について	8

第1章 拡張DVD-RAM/Rユニットの機能概略

本機の機能について	9
-----------	---

第2章 各部の名称と働き

各部の名称と働き	10
メディアの使用について	11

第3章 接続と電源投入

拡張DVD-RAM/Rユニットとロクラクを接続する	13
電源を入れる	14

第4章 メディアのセットと取り出し

メディアをセットする	15
メディアを取り出す	16

第5章 機能操作

以下の項目を実行するにはには、ロクラク側から操作します。

メディアをクイックフォーマットする	17
メディアを物理フォーマットする	19
ディスクIDの確認	21
メディアから直接再生する	24
メディアのファイルを削除する	26
メディアのファイルをロクラクにコピーする	28
ロクラクのファイルをメディアにコピーする	30
ロクラクの操作でメディアを取り出す	32

ユーザー登録について

ユーザー登録フォーム	34
------------	----

安全上のご注意

ご使用前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全にお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

[表示の説明]

表示	表示の意味
 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があることを示します。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があることを示します。

[図記号の説明]

図記号例	図記号の意味
 禁止	禁止（絶対にしてはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。
 強制	強制（必ず指示に従い行うこと）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。

 警告	
<p>異常が起きたときは使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万一、異常な音、におい、煙がでたときはすぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜くこと。 火災・感電の原因になります。 当社サービス窓口にご連絡ください。 	<p>電源は、交流 100V を使う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AC100V 以外でご使用になると、感電・火災の原因になります。
<p>分解しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改造・分解はしないこと。 けが・感電・火災の原因になります。 ・キャビネットははずさないこと。 内部に手を触れると、感電の原因になります。 	<p>内部に異物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部に燃えやすいものや金属、水などが入ると、火災・感電、事故や故障の原因になります。
<p>AC 電源アダプタを傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AC 電源アダプタの上に重いものをのせたり落としたりしない。 ・AC 電源アダプタを傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、熱器具に近づけたりしない。 ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない。 AC 電源アダプタが傷ついて、感電・火災の原因になります。 	



警告 (つづき)

不安定な場所に置かない

・ぐらつく台や傾いた場所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



禁止

上に物を置かない

・重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。
・花瓶やコップなどから液体がこぼれだした場合、火災・感電の原因になります。



禁止

風呂場には置かない

・水気の多い場所での使用は、感電・火災の原因になります。



風呂場禁止

雷が鳴り出したら、本機に触れない

・感電・火災の原因となります。



接触禁止



注意

設置するときは、次のことをお守りください

・直射日光や熱器具のそばに置かない。
・仰向けや横倒し、さかさまにしない。
・押入れや本箱など風通しの悪い場所に置かない。
・布（テーブルクロスやカーテン）をかけない
・じゅうたんや布団の上に置かない。
・湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気の当たる場所には置かない。
風通しが悪かったり、置き場所によっては内部に熱がこもり、火災や感電の原因となります。



設置禁止

電源プラグを持って抜く

・電源コードを引っ張ると傷つき、感電・火災の原因となります。



プラグを持つ

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となります。



濡れ手禁止

電源プラグのほこりは定期的にとる

・火災の原因になります。



ほこりをとる

移動させる場合は接続線を外す

・電源プラグや外部との接続線を外したことを確認のうえ、移動する。感電や火災・けがの原因になります。



禁止

拡張DVD-RAM/R 接続ケーブルは電源ONのまま接続しない

・拡張DVD-RAM/R 接続ケーブルは拡張DVD-RAM/R ユニット及び、ロクラクの電源ONの状態では接続しない。故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意

本機の手理取りについて

保管、設置ときは

次のような場所での保管、設置は避けてください。

- ・極端に寒いところや暑いところ
- ・直射日光が長時間あたるところや暖房器具の近く(真夏の窓を閉めきった自動車内では50℃を超えることがありますので、ご注意ください。)
- ・湿気、ほこりの多いところ
- ・たばこの煙の充満しているところ
- ・激しく振動するところ
- ・強い磁気を発生するものの近く
- ・強力な電波を発するテレビ、ラジオの近く
- ・本機は水平位置で使用するよう設計してあります。極端に傾けて使用することは避けてください。

使用するとき

- ・電源を入れたまま本機を動かさないでください。
- ・再生中およびコピー中などメディア(媒体)にアクセス中(動作表示ランプが橙色に点灯中)には電源OFFしたり、コンセントを抜いたりしないでください。
- ・急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- ・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだ時や、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こる時があります。
結露が起きたときは、メディア(媒体)を取り出した上、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると誤動作、故障の原因となります。
- ・ほこり、ちり及び、たばこの煙などが充満する場所では使用しないでください。(本機の機能低下、故障の原因となります。)
- ・揮発性の殺虫剤などがかからないようにしてください。(外装の変形や塗装がはげる原因となります。)

- ・すべての動作中に電源プラグを抜いたり、停電があった場合、記録内容が損なわれたり、あるいはすべて消える場合があります。
- ・無理にトレイを引っ張って開けないでください。(故障の原因になります。)
- ・本機を磁石など磁気を帯びたものに近づけたりしないでください。(磁気の影響で動作が不安定になることがあります。)
- ・隣接して使用しているテレビなどに雑音が入る場合には2m以上間隔を置くか、コンセントを別にしてください。
- ・落としたりして強い衝撃を与えないでください。(故障の原因となります。)
- ・重いものを本機の上に載せないでください。(故障の原因となります。)
- ・温度上昇を防ぐため動作中に布などで包まないでください。
- ・本機背面にある排気口の前約10cmほどはものを置かず、風通しの良い状態にしておいてください。
- ・本機は、弊社製品：ロクラク(外部拡張インターフェース搭載モデル)の拡張ユニットとしてご利用頂く事ができます。その他(弊社、他社を含む)の製品に接続して使用しないでください。
- ・大切なファイルの場合には、必ず再生をし、正常に記録されていることを確認して下さい。本機使用中、万一何らかの不具合により、記録されなかった場合の補償及び付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化および消失など)に関して当社は一切の責任を負いません。データの修復は出来ませんので大切な映像などはビデオテープ等にダビングするなどしてバックアップを取っておくことをお勧めします。

輸送、移動するときは

- ・必ずメディア(媒体)をトレイから取り出し、電源を切り、AC電源アダプタなどのコード類をすべてはずしてください。(メディア(媒体)を本機に格納したまま移動、輸送すると、本機の読み書き装置及び、メディア(媒体)をきずつけデータを読み書きできなくなる場合があります。)
- ・付属の Karton または同等品で梱包し、急激な衝撃をあたえないように注意してください。

長期間使用しないときは

- ・節電のため本機の DC IN 12V 端子の接続プラグを抜き、AC電源アダプタをコンセントから抜いてください。

本機のお手入れについて

ヘッド部分のお手入れについて

- ・長時間の使用をすると、本機のヘッド部分にほこり、ちり及び、たばこなどの煙などが付着して正常な読み書きができなくなるおそれがあります。

その場合には、本機のヘッド部分を専用のヘッドクリーナを使用して清掃するようにしてください。(3ヶ月に1回程度を目安として清掃してください。)

ヘッドクリーナを使用した清掃は次の手順で行ってください。

- 1 本機の電源を入れてください。
- 2 ヘッドクリーナを挿入してください。
- 3 ヘッドクリーナは自動的にローディングされヘッドクリーナに装着された清掃ブラシにより、ヘッドを清掃します。清掃時間は約15秒かかります。

推奨ヘッドクリーナ

メーカー Panasonic

品名 DVD-RAM / PD レンズクリーナー

商品番号 LF-K123LCJ1

本機表面のお手入れについて

- ・キャビネットやパネルのよごれは、乾いたやわらかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい時は中性洗剤溶液を少し含ませた布でよごれをふきとり、乾いた布で仕上げてください。
アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ・電源プラグの刃や刃の取り付け面にごみやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きごみやほこりを除去して下さい。
電源プラグの絶縁低下により、感電・火災の原因となります。

メディア(媒体)の取り扱いについて

メディア(媒体)の取り扱いについて

本機にて使用できるメディアは、指定のDVD-RAMのみです。ご使用になるにあたって、DVD-RAMの性能と信頼性を確保するためDVD-RAMの取り扱いについては、以下の注意事項を守って使用、保管及び、輸送してください。

- ・直射日光、急激な温度変化及び、高熱、多湿の場所では使用、保管しないでください。
- ・シャッタ部分、DVD-RAM自体を強く押さえたり、落下などによる衝撃、激しい振動を与えたりしないでください。
- ・ほこり、ちりの多い場所やたばこの煙がたちこめる場所では使用、保管しないでください。
- ・シャッタ部分を開閉したり、ディスク媒体に指で触れたりしないでください。
- ・DVD-RAMの上に重いものをのせないでください。
- ・DVD-RAMを濡らしたりしないでください。
- ・DVD-RAMが破損しないように、丈夫な入れ物に入れ緩衝材などで覆うなどして輸送するようにしてください。

DVD-RAMとは

DVD-RAMとは、大容量光ディスクの総称で、動画、音声、データなどをデジタル記録できる書き換え可能型の補助記憶装置のことです。本製品でご使用いただけます。

DVD-Rとは

1度だけ書込み可能な記録DVDのことです。本製品ではご使用いただけません。

メディア(媒体)のお手入れについて

メディア(媒体)お手入れについて

空気中に浮遊するごみ、ちり、たばこの煙などがディスク媒体に付着することにより、DVD-RAMの性能は低下するため、定期的な清掃をするようにしてください。(使用時間300時間ごと、または2～3ヶ月に1回程度を目安として清掃してください。)

メディアの清掃については、必ず、ご使用のメディア専用のクリーニングキットを使用し、クリーニングキット付属の使用説明書をよく読んで正しく清掃してください。

その他の注意事項

免責事項について

- ・火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化および消失など)に関して当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

停電について

本機の動作中に停電等が発生したり、電源プラグをコンセントから抜いたりすると、場合によっては記録された内容が損なわれたり、消去されてしまう場合がありますので、ご注意下さい。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、本書をもう一度ご覧頂き、各種設定をご確認下さい。また、ケーブル接続状態及び接続コネクタがしっかり挿し込まれている事等を点検してください。それでも正常に動作しない場合は、当社サービス窓口にお問い合わせください。

ユーザー登録について

本機のユーザー登録について

ユーザー登録はサポート、バージョンアップ等のサービスを受ける上で大切なものです。ご購入時ユーザー登録をすることをお勧めします。ユーザー登録の登録方法については、同梱のユーザー登録ハガキによる登録、インターネットによる登録及び、FAXによる登録の3つの方法があります。

インターネット登録の場合には、(株)日本デジタル家電ホームページ(<http://www.rokuraku.com/>)より、FAX登録につきましては、本書「拡張DVD-RAM/Rユニット」ユーザー登録フォームの内容をご記入の上手続きを行ってください。

ご登録されていない場合、記入事項に誤りがある場合、あるいは記入もれのある場合、サポート及び、バージョンアップ等のサービスが受けられなくなる場合がありますのでご注意ください。(登録完了通知は致しませんので、記述内容をご確認の上、お送りください。)

本機の機能について

本機は、弊社製品：ロクラク（外部拡張インターフェース搭載モデル）の拡張ユニットとしてご利用頂くものです。以下に本機の機能概略を記載します。

1

1 ロクラクで録画したファイルをメディア(媒体)にコピーする

本機は、ロクラクに接続頂いた上で、ロクラク内蔵ハードディスクに録画したファイルのバックアップ等にご利用いただけます。

1枚のメディア(媒体)には、最大4ファイルまでファイルをコピーすることができます。

(ただし、ファイルの大きさ及び、コピー先メディア(媒体)の容量によっては4ファイルをコピーできない場合があります。TYPE4の両面ディスクの場合には、片面に4ファイルずつで計8ファイルコピーできます。)

注意：メディア(媒体)にファイルをコピーする場合には、メディア(媒体)のライトプロテクトタブを書込み可能状態にしておく必要があります。

ご使用のメディア(媒体)をフォーマットしたロクラク以外からこの操作はできません。

2 メディア(媒体)に記録されているファイルをロクラクにコピーする

著作権及び、それらに付随した権利関係保護の為、ご使用のメディア(媒体)をフォーマットしたロクラクでのみ、メディア(媒体)からロクラクにファイルのコピーができます。

注意：ご使用のメディア(媒体)をフォーマットしたロクラクでない場合には、ディスクID確認作業をすることにより、この機能を使用できます。(ディスクID確認をしていない場合には“フォーマットがされていません。”のメッセージを表示します。)

3 メディア(媒体)に記録されているファイルを直接再生する

メディア(媒体)から直接ファイル再生することができます。

ただし、本機の制約上、トリック再生(早送り、巻き戻し、スロー再生、一時停止など)及び、プログラム再生などの高度な再生手段は機能しません。それらの再生を実行したい場合には、ファイルをロクラクにコピーした上、再生してください。

注意：ご使用のメディア(媒体)をフォーマットしたロクラクでない場合には、ディスクID確認作業をすることにより、この機能を使用できます。(ディスクID確認をしていない場合には“フォーマットがされていません。”のメッセージを表示します。)

4 メディア(媒体)に記録されているファイルを削除する

メディア(媒体)のファイルを削除できます。

注意：メディア(媒体)のファイルを削除する場合には、メディア(媒体)のライトプロテクトタブを書込み可能状態にしておく必要があります。

ご使用のメディア(媒体)をフォーマットしたロクラク以外からこの操作はできません。

5 メディア(媒体)をロクラク用にフォーマットする

ロクラクのファイルをメディア(媒体)にコピーするには、メディア(媒体)をフォーマットしなければなりません。

フォーマットしたメディア(媒体)には個々にディスクIDが割り振られ、そのIDがメディア(媒体)へのアクセスをするためのセキュリティIDの役割をします。

メディア(媒体)をフォーマットしたロクラクからは、ディスクIDの確認作業はロクラク自身が自動で確認するため必要ありません。メディア(媒体)をフォーマットしたロクラク以外で、ファイルの直接再生、メディア(媒体)からロクラクへコピーする場合にディスクIDの確認が必要となります。

第2章 各部の名称と働き

各部の名称と働き

2

フロントパネル（前面）



トレイ

メディアをセットします。詳しくは、「メディアをセットする」の頁を参照ください。

動作表示ランプ

消 灯：メディア未セット時
緑点灯：メディアセット時
橙点灯：メディアにアクセス時、トレイ 開閉時
緑点滅：エラー発生時

イジェクトボタン

このボタンを押すとトレイを排出します。

手動イジェクトホール

何らかの原因によりイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなってしまった場合にもトレイが排出されなくなってしまった場合にも使用してください。詳しくは、「メディアを取り出す」の頁を参照ください。

リアパネル（背面）



インターフェースコネクタ

ロクラクの外部拡張インタフェースと接続します。付属の接続ケーブルをお使いください。詳しくは、「拡張 DVD-RAM/R ユニットとロクラクを接続する」の頁を参照ください。

DC IN 12V 端子

付属の AC 電源アダプタの接続プラグをこの端子に差し込みます。

メディアの使用について

使用可能なメディア

現在、本機で使用することができるメディアは以下に記載したDVD-RAMです。下記以外のメディア(媒体)では、本機は正常に読み書きできませんのでご注意ください。

メディア名	
DVD-RAM Ver.1.0	2.6GB
	5.2GB
DVD-RAM Ver.2.0	4.7GB
	9.4GB
DVD-RAM Ver.2.1(8cm)	1.46GB
	2.8GB

TYPE 1 : ディスクの取り出しができないタイプ

TYPE 2 : 片面のディスクで、ディスクの取り出しができるタイプ

TYPE 4 : 両面のディスクで、ディスクの取り出しができるタイプ
(両面ディスクの場合には、同時に両面のアクセスはできません。)

カートリッジなし :

8cmのDVD-RAMの場合には、必ずカートリッジなしでお使いください。

ご注意 : メディアは市販のDVD-RAMをご利用いただけます。ただし、データフォーマットはロクラク専用フォーマットとなっておりますので、DVD-RAMに記録したファイルはロクラク以外のDVDプレーヤーなどでは視聴いただけません。

メディアの書き込み可能・禁止設定

カートリッジなしのDVD-RAMの場合 :

書き込み禁止設定はできませんので、大切なファイルの場合にはTYPE 1、TYPE 2、TYPE 4のDVD-RAMに記録することをお勧めします。

TYPE 1、TYPE 2、TYPE 4のDVD-RAMの場合 :

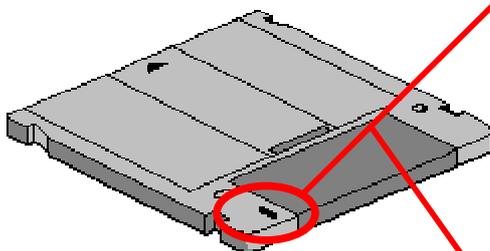
カートリッジのライトプロテクトタブにより書き込み可能、書き込み禁止の切換えをすることができます。

本機を使いロクラクのファイルをメディア(媒体)にコピーしたり、メディア(媒体)のファイルを削除する場合には、メディア(媒体)のライトプロテクトタブを書き込み可能状態にしておく必要があります。もし、書き込み禁止状態ですれらを実行しようとした場合には、ロクラクはエラーメッセージを表示して処理を中止します。

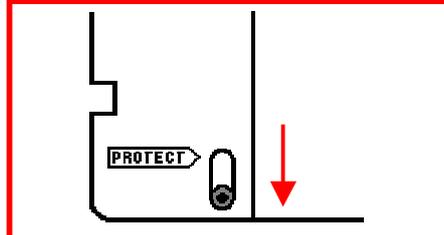
メディア(媒体)に記録したファイルで大切なものはライトプロテクトタブを書き込み禁止状態にしておくことをお勧めします。

(TYPE 2のDVD-RAM(2.6GB)はカートリッジから取り出した状態ではご使用になれません。使用になるときは、カートリッジに入れてお使いください。)

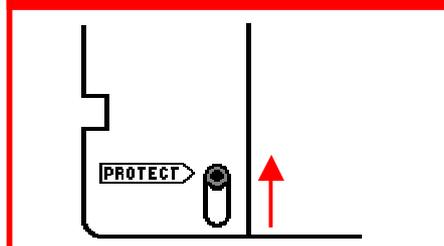
DVD-RAM(TYPE 1、TYPE 2、TYPE 4)



書き込み可能状態



書き込み禁止状態



第3章 接続と電源投入

拡張 DVD-RAM/R ユニットとロクラクを接続する^{†1、2}

拡張 DVD-RAM/R ユニットを使用するには、まず、ロクラクと本機付属の拡張 DVD-RAM/R 接続ケーブルとを接続してください。

本機とロクラクとは、以下の図を参照の上接続してください。

拡張 DVD-RAM/R ユニットとロクラク背面



拡張 DVD-RAM/R 接続ケーブル

- †1 ロクラクと拡張 DVD-RAM/R ユニット間の接続は、拡張 DVD-RAM/R 接続ケーブルのコネクタ部分を「カチッ」と音がするまでしっかり差込んでください。
- †2 本機の DC IN 12V 端子から AC 電源アダプタの接続プラグを抜きかつ、ロクラクの主電源スイッチを切った(「」が押された)状態で接続してください。

警告 AC 電源アダプタの電源プラグは家庭用交流 100V のコンセントに接続してください。交流 100V 以外を使用すると火災・感電の原因となります。

注意 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

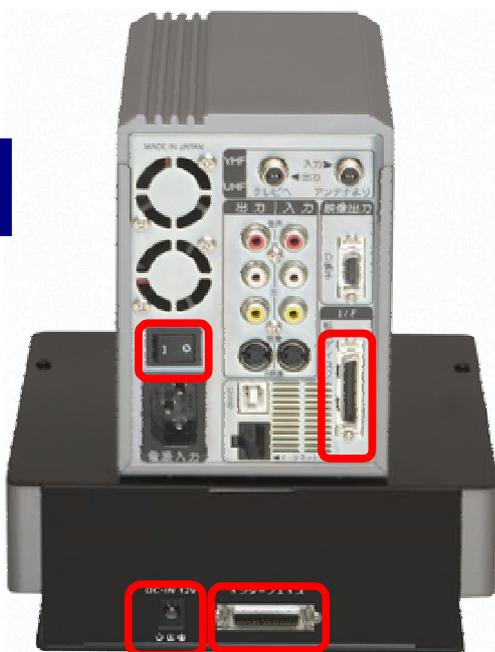
お願い 接続するロクラク本体の取扱説明書もよくお読みください。

接続するときは、必ず本機の DC IN 12V 端子から AC 電源アダプタの接続プラグを抜きかつ、ロクラク背面の電源を切り、AC 電源アダプタの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

電源を入れる

拡張 DVD-RAM/R ユニットを使用するにはロクラクと本機を付属の拡張 DVD-RAM/R 接続ケーブルにて接続してください。

3



1 ロクラクと拡張 DVD-RAM/R ユニットの電源を切る

ロクラクの電源は「**|**」表示が押された状態で電源 OFF となります。
本機電源を切るには、DC IN 12V 端子から AC 電源アダプタの接続プラグを抜いてください。

2 ロクラクと拡張 DVD-RAM/R ユニットの接続ケーブルでつなぐ

接続ケーブルとコネクタを接続する時には、「カッチ」と音がするまでしっかり差込みます^{†1}

詳しくは、「拡張 DVD-RAM/R ユニットとロクラクを接続する」の頁を参照ください。

3 拡張 DVD-RAM/R ユニットの電源を入れる

本機の DC IN 12V 端子に AC 電源アダプタの接続プラグをしっかり差し込んでください。(AC 電源アダプタの電源プラグはコンセントに差し込んでください。)

拡張 DVD-RAM/R ユニットの動作表示ランプが橙色に点灯し、数秒後消灯します。

4 ロクラクの電源を入れる^{†2、3}

主電源スイッチの「**|**」表示が押された状態にしてください。(AC 電源アダプタの電源プラグはコンセントに差し込んでください。)

ロクラクのフロントパネルにある POWER ランプが点灯します。

(ロクラクの電源を入れるにはロクラク「取扱説明書」も参考にしてください。)

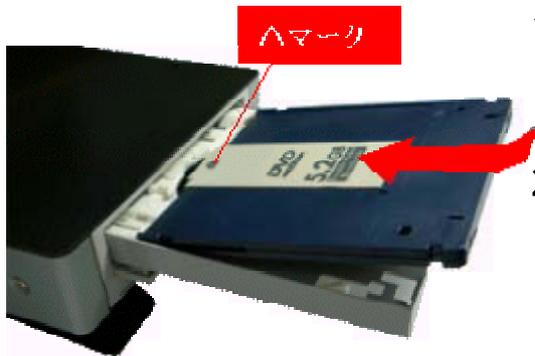
†1 接続ケーブルを本機及び、ロクラクに接続する場合には、インターフェースコネクタにほこり、ちりなどが付着していないか確かめ、付着していた場合は乾いたやわらかい布で軽くふきとってください。汚れがひどい場合には中性洗剤を少し含ませた布でふきとり、乾いた布で仕上げてください。

†2 ロクラクの電源を投入する前に拡張 DVD-RAM/R ユニットの電源を入れるようにしてください。(ロクラクの電源を先に入れた場合には、ロクラクは拡張 DVD-RAM/R ユニットを認識できず、「ロクラク」メニューを表示しても「DVDディスク」の項目を表示しません。)

- † 3 ロクラクの主電源スイッチを ON すると、ロクラクはロゴ画面を表示し同時に ACCESS ランプが数秒点灯します。ACCESS ランプが消灯しテレビモニタに番組を表示するまでの間は、本機の [イジェクト] ボタンは押さないでください。この間に [イジェクト] ボタンを押してトレイの出し入れをした場合には、ロクラクは「Disk unformatted」文字を画面表示しロクラクに記録されているファイルを認識しない場合があります。(この場合には、メディアを取り出し、ロクラクの主電源を一度切り 10 秒ほど待った後、もう一度この項目の最初から操作をやり直してください。)

メディアをセットする^{†1}

本機にメディアをセットする場合には、以下の図を参考にセットしてください。また、メディアには表、裏がありますのでご注意ください。

TYPE 1、TYPE 2、TYPE 4 の DVD-RAM の場合

- 1 [イジェクト]ボタンを押す
 - ・トレイを排出します。
- 2 DVD-RAM を マークの向きでトレイの奥に押し込むように載せる
 - 矢印のようにトレイの奥に押し込んでください。
- 3 [イジェクト]ボタンを押すか、トレイを軽く押し込む
 - ・トレイが格納します。
 - トレイがセットされると動作表示ランプが橙色に点灯します。DVD-RAM へのアクセス可能状態になると緑色に変わります。^{†2}

カートリッジなしの DVD-RAM の場合

- 1 [イジェクト]ボタンを押す
 - ・トレイを排出します。
- 2 DVD-RAM をトレイの中央に載せる
- 3 [イジェクト]ボタンを押すか、トレイを軽く押し込む
 - ・トレイが格納します。
 - トレイがセットされると動作表示ランプが橙色に点灯します。DVD-RAM/R へのアクセス可能状態になると緑色に変わります。^{†2}

†1 8 cm の DVD-RAM を本機にセットする場合は、必ずカートリッジから取り出して、カートリッジなしの状態ですべてセットしてください。

†2 トレイが格納されても、動作表示ランプが橙色のときには、ロクラクから本機を操作しようとしても「DVD ディスクがセットされていません。」のメッセージを表示します。動作表示ランプが緑色になってから操作してください。

メディアを取り出す^{†1}

拡張 DVD-RAM/R ユニットからメディアを取り出します。



1 [イジェクト]ボタンを押す

- ・動作表示ランプが橙色に点灯し、トレイを排出します。
トレイからメディアを取り出してください。^{†2}

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない場合には、本機及び、ロクラクの電源を切った上、手動イジェクトホールを使い取り出してください。

†1 この項目によるメディアの取り出しの他にロクラクからの操作によるメディアの取り出し方法もあります。

ロクラクの操作により、メディアを取り出すには「ロクラクの操作でメディアを取り出す」の頁を参照してください。

†2 カートリッジなしの DVD-RAM の場合には、DVD-RAM の中央の穴と外側を指ではさむようにし、ディスク媒体に触れないように取り出してください。

4

トレイが排出されないときは？

[イジェクト]ボタンを押してもトレイが排出されないときには、本機及び、ロクラクの電源を切った上、大きめのクリップなどを手動イジェクトホールに入れ、押すとトレイが2～3cm排出されます。後は手で静かに引き出してください。



注意：本機に電源が供給されている状態では、絶対にこの操作はしないでください。

メディアをクイックフォーマットする^{†1、2}

指定のメディアをロクラクで使用できるようにクイックフォーマットし、固有のディスクIDを割り当てます。クイックフォーマットの場合には、ロクラクから操作してメディアに対してコピー、再生、削除ができるよう、システムの管理情報をメディアに書き込みます。物理フォーマットに比べると短時間で済み、数秒でフォーマットを完了します。

準備をする

メディアをクイックフォーマットするには指定のDVD-RAMが必要です。^{†3}

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



ロクラクに拡張DVD-RAM/Rユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「DVDディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「DVDディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張DVD-RAM/Rユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

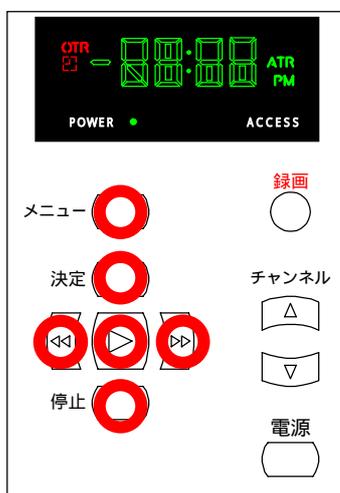
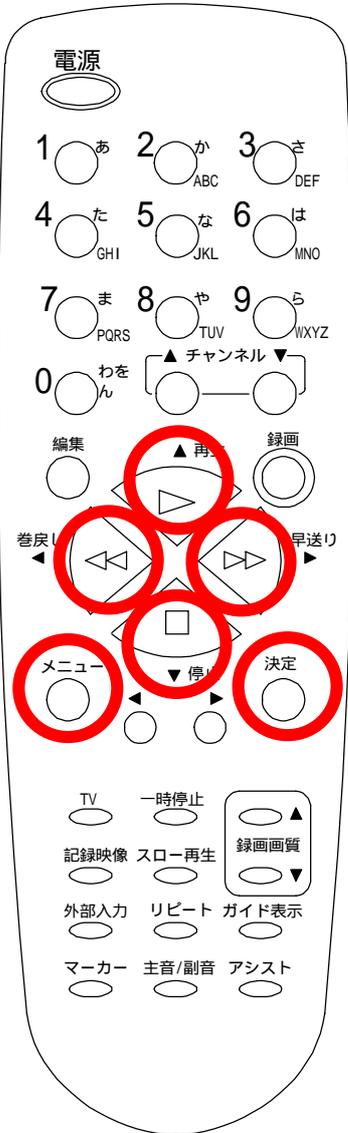
2 [(再生)] [(停止)]キーで「DVDディスク」を選び[決定]キーを押す

・「DVDディスク」メニューを表示します。



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ディスクフォーマット」を選び[決定]キーを押す

・「ディスクフォーマット」画面を表示します。

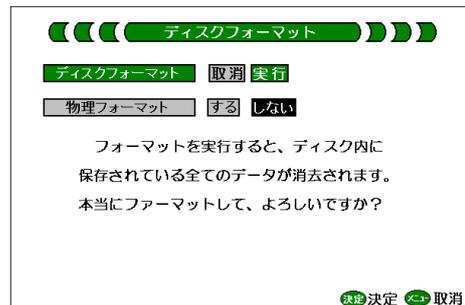


4 [(再生)][(停止)]キーで「ディスクフォーマット」を選び[決定]キーを押す

・「取消」にカーソルが移動します。

5 [(早送り)][(巻戻し)]キーで「実行」を選び[決定]キーを押す

・「フォーマットを実行すると、ディスク内に保存されている…」のメッセージを表示します。



・フォーマットしないときは「取消」で[決定]キーを押します。

6 [決定]キーを押す

・「ディスクフォーマット中!!」のメッセージを表示し、クイックフォーマットを実行します。^{†4、5}

フォーマットしないときは[メニュー]キーを押してください。

- †1 一度割り当てられたディスクIDの変更はできません。
- †2 通常はこのフォーマットのみで使用可能となりますが、ご購入のメディアによっては、このフォーマットを実行してもご使用になれない場合もあります。その場合には「メディアを物理フォーマットする」の頁を参照し、物理フォーマットしてください。
- †3 「メディアの使用について」の頁にて、使用可能なメディアを確認してください。
- †4 フォーマット中は、キー操作できません。
- †5 TYPE 4 の DVD-RAM の場合には、片面ずつのフォーマットとなります。(一度に両面のフォーマットはできません。)また、割り振られたディスクIDは片面のみのIDです。

メディアを物理フォーマットする^{†1、2}

指定のメディアをロクラクで使用できるように全領域を初期化し、固有のディスクIDを割り当てます。物理フォーマットはメディアの全領域を初期化するため、片面2.6GBのDVD-RAMでおよそ1時間程度の時間がかかります。

準備をする

メディアを物理フォーマットするには指定のDVD-RAMが必要です。^{†3}

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



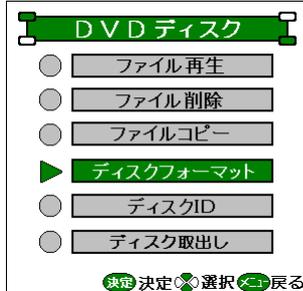
ロクラクに拡張DVD-RAM/Rユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「DVDディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「DVDディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張DVD-RAM/Rユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

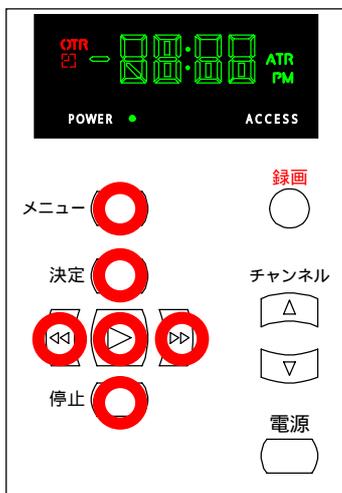
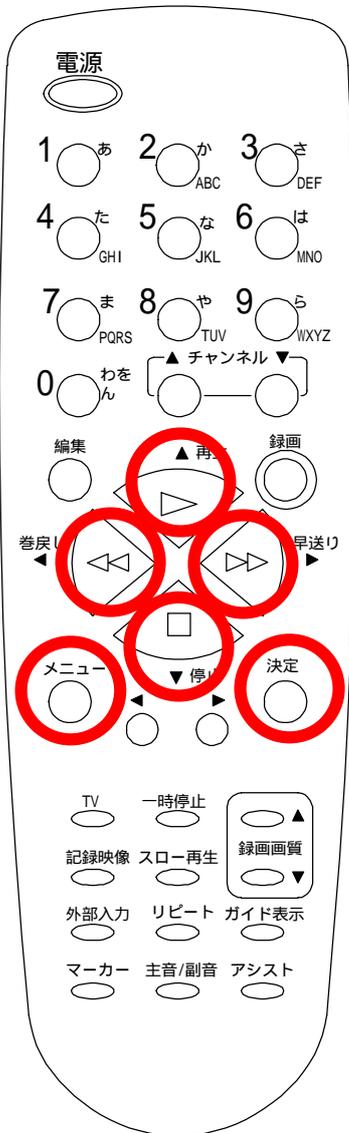
2 [(再生)] [(停止)]キーで「DVDディスク」を選び[決定]キーを押す

・「DVDディスク」メニューを表示します。



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ディスクフォーマット」を選び[決定]キーを押す

・「ディスクフォーマット」画面を表示します。



4 [(再生)][(停止)]キーで「物理フォーマット」を選び[決定]キーを押す

- ・「しない」にカーソルが移動します。



5 [(早送り)][(巻戻)]キーで「する」を選び[決定]キーを押す

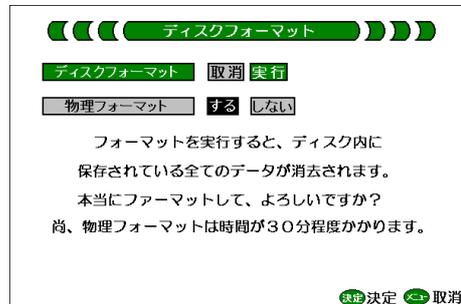
- ・「する」が選択された状態になります。

6 [(再生)][(停止)]キーで「ディスクフォーマット」を選び[決定]キーを押す

- ・「取消」にカーソルが移動します。

7 [(早送り)][(巻戻)]キーで「実行」を選び[決定]キーを押す

- ・「フォーマットを実行すると、ディスク内に保存されている…」のメッセージを表示します。



8 [決定]キーを押す

- ・「ディスクフォーマット中!!」のメッセージを表示し、物理フォーマットを実行します。^{†4、5}

フォーマットしないときは[メニュー]キーを押してください。

- †1 一度割り当てられたディスクIDの変更はできません。
- †2 物理フォーマットには時間がかかるため、クイックフォーマットをしてもメディアをご使用になれない場合のみ実行することをお勧めします。
- †3 「メディアの使用について」の頁にて、使用可能なメディアを確認してください。
- †4 フォーマット中は、キー操作できません。
- †5 TYPE 4 の DVD-RAM の場合には、片面ずつのフォーマットとなります。(一度に両面のフォーマットはできません。) また、割り振られたディスクIDは片面のみのIDです。

ディスクIDの確認

メディアをフォーマットするとそのディスクに固有のディスクIDが割り当てられます。フォーマットを実施したロクラク以外でメディアに記録したファイルの参照、再生及び、コピーなどをする場合には、ディスクIDの確認作業をしなければ「フォーマットされていません」のメッセージを表示しお使いいただけません。

フォーマットを実施したロクラク以外で、メディアに記録されたファイルの内容を参照したり、メディアから直接再生、メディアに記録されたファイルをロクラクにコピーする場合には、拡張 DVD-RAM/R ユニットにメディアをセットする度に、この作業を実施する必要があります。^{†1、2、3}

準備をする

ディスクIDを確認するには、メディアをフォーマットしたロクラクでなければ確認できません。

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



ロクラクに拡張 DVD-RAM/R ユニットを正常に接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「DVDディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「DVDディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張 DVD-RAM/R ユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

2 [(再生)] [(停止)]キーで「DVD ディスク」を選び[決定]キーを押す

・「DVD ディスク」メニューを表示します。

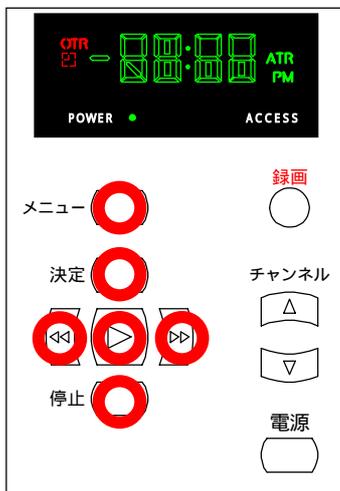
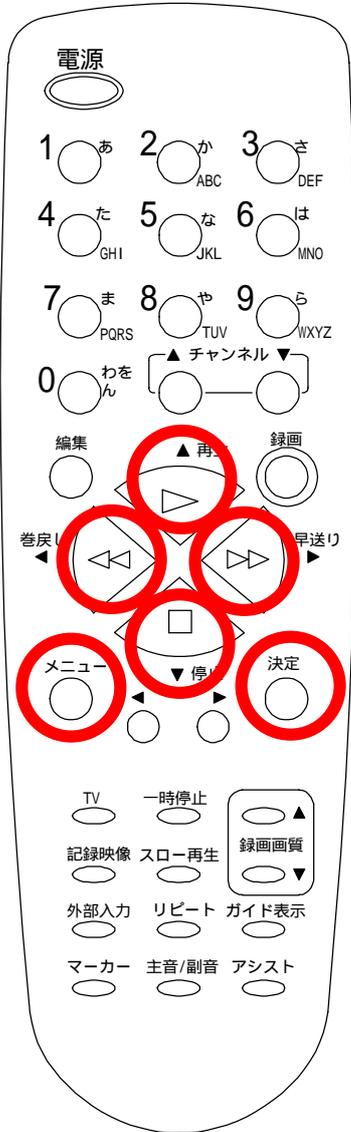


3 [(再生)] [(停止)]キーで「ディスクID」を選び[決定]キーを押す

・ロクラクを複数ご使用になっている場合には、メディアをフォーマットしたロクラクからディスクIDの確認をした場合とそうでない場合とで表示される画面が異なります。

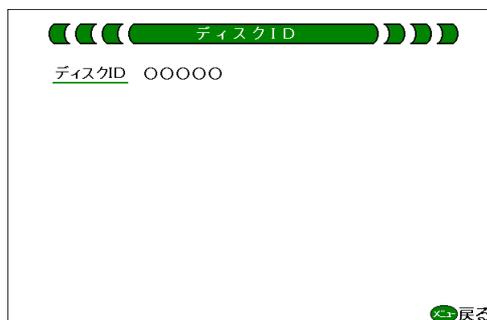
メディアをフォーマットしたロクラクからディスクIDの確認をした場合には、手順4にお進みください。

メディアをフォーマットしたロクラク以外からディスクIDの確認をした場合には、手順5にお進みください。



4 メディアをフォーマットしたロクラクの場合

- ・下のような「ディスクID」画面を表示します。



この場合には5桁のディスクIDを表示します。
他のロクラクでこのメディアをご使用になる場合に必要となるIDです。

[メニュー]キーを押し、終了してください。

5 メディアをフォーマットしたロクラク以外の場合

5

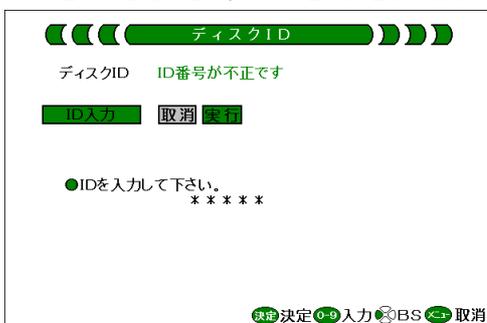
- ・下のような「ディスクID」画面を表示します。



手順6 移行にお進みください。

6 [(早送り)] [(巻戻し)]キーで「実行」を選び[決定]キーを押す

- ・「IDを入力して下さい。」メッセージを表示します。



7 [0～9]キーでID番号を入力し[決定]キーを押す

[(巻戻し)]キーで入力したID番号を1文字削除できます。

入力したディスクIDが正しかった場合には「IDを確認しました」のメッセージを表示します。



[メニュー]キーを押して終了してください。

以上の操作により、このメディアに記録されたファイルの内容を参照したり、メディアから直接再生、メディアに記録されたファイルをロクらくにコピーできます。

(IDの確認ができて、メディアに記録されたファイルを削除したり、ロクらくのファイルをメディアにコピーしたりすることはできません。)

ディスクID未確認の場合には、そのメディアはロクらくでフォーマットされていないメディアと認識されるため、ライトプロテクトタブを書込み可能状態にしてフォーマットすると、フォーマットされてしまいますのでご注意ください。

ディスクIDの確認が完了しているメディアについてはフォーマットを実行しようとしてもフォーマットできません。

- ・入力したディスクIDが正しくなかった場合には、「IDが正しくないか、フォーマットがされていません。」のメッセージを表示し、メディアにアクセスできません。

[メニュー]キーを押し、終了するか、再びID入力作業を実施してください。

- †1 ディスクIDの確認がとれたメディアでも、ロクらくからメディアへのファイルコピー、メディアに記録されたファイルの削除はできません。この機能は、メディアをフォーマットしたロクらくでのみ実行できます。

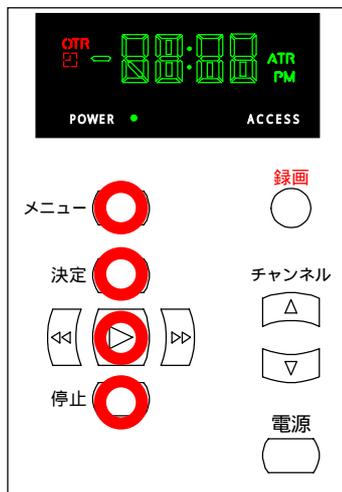
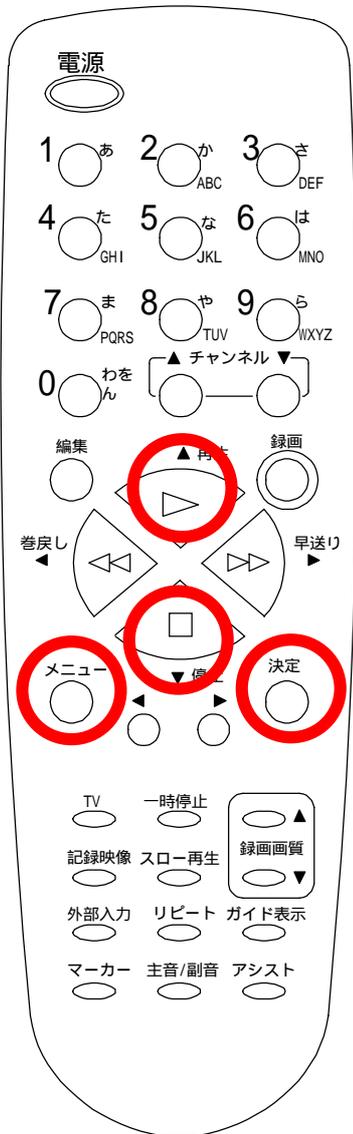
「ライトプロテクトがされているため、
できません。」のメッセージを表示し、何もしないで処理を終了します。

- †2 一度割り当てられたディスクIDの変更はできません。

- †3 TYPE4のDVD-RAMの場合には、片面ずつのフォーマットとなるため、ディスクIDも片面ずつ別々に割り振られます。

メディアから直接再生する^{†1}

メディアに記録されたファイルをメディアから直接再生することができます。ただし、トリック再生(早送り、巻き戻し、一時停止、スロー再生)、プログラム再生などの高度な再生機能は使用できません。



準備をする

メディアをフォーマットしたロクラク以外から直接再生するには、ディスクIDの確認作業が必要です。

(ID確認をしなかった場合は、「フォーマットされていません」のメッセージを表示し、メディアの内容を再生できません。)

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



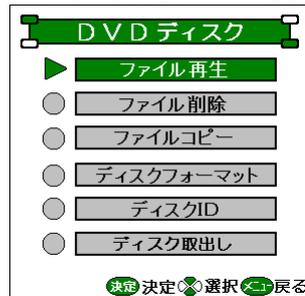
ロクラクに拡張 DVD-RAM/R ユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「DVD ディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「DVD ディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張 DVD-RAM/R ユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

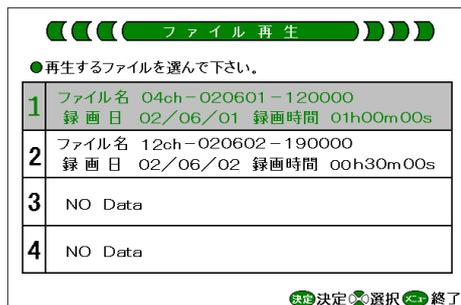
2 [(再生)] [(停止)]キーで「DVD ディスク」を選び[決定]キーを押す

・「DVD ディスク」メニューを表示します。



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ファイル再生」を選び[決定]キーを押す^{†1}

・「ファイル再生」画面を表示します。



4 [(再生)] [(停止)]キーで再生したいファイルを選び[決定]キーを押す†²

- ・選択したファイルをメディアから直接再生します。

メディアから直接再生した場合には、トリック再生(早送り、巻き戻し、一時停止、スロー再生)、プログラム再生などの高度な再生機能はできません。

- † 1 TYPE 4 の DVD-RAM の場合には、「ファイル再生」画面に表示するファイルは片面に記録されているファイルのみです。
裏面に記録されているファイルを再生したい場合には、一度トレイを排出し、メディアを裏返してください。
- † 2 メディアにアクセスしている時には、本機の動作表示ランプが橙色に点灯します。

メディアのファイルを削除する†1、2、3

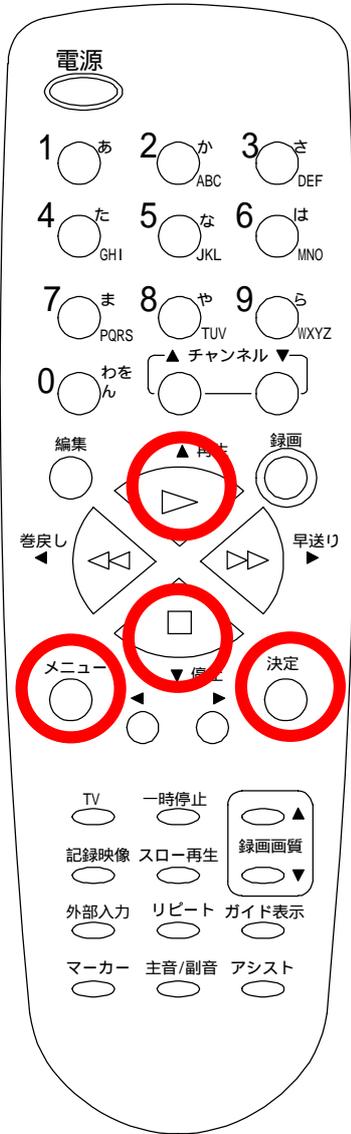
メディアに記録されているファイルを削除します。この機能を実行するには、メディアのライトプロテクトタブを書込み可能状態にしておく必要があります。

ご注意：

メディアをフォーマットしたロクラクでのみ操作できる機能です。メディアをフォーマットしたロクラク以外からは、ディスクIDの確認作業をしてもこの操作はできません。†4

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



ロクラクに拡張 DVD-RAM/R ユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「DVD ディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「DVD ディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張 DVD-RAM/R ユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

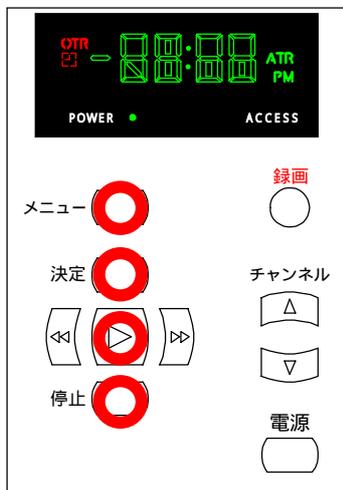
2 [(再生)] [(停止)]キーで「DVD ディスク」を選び[決定]キーを押す

・「DVD ディスク」メニューを表示します



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ファイル削除」を選び[決定]キーを押す†5

・「ファイル削除」画面を表示します。



メディアのファイルをロクラクにコピーする^{†1}

メディアに記録されたファイルをロクラクにコピーします。

ご注意：

メディアをフォーマットしたロクラク以外からこの操作をするには、ディスクIDの確認作業が必要です。

(ID確認をしなかった場合は、「フォーマットされていません」のメッセージを表示し、操作できません。)

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



ロクラクに拡張 DVD-RAM/R ユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「DVD ディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「DVD ディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張 DVD-RAM/R ユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

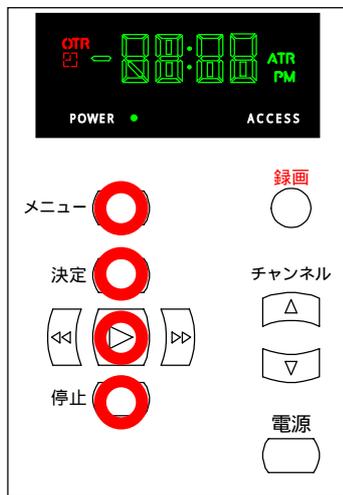
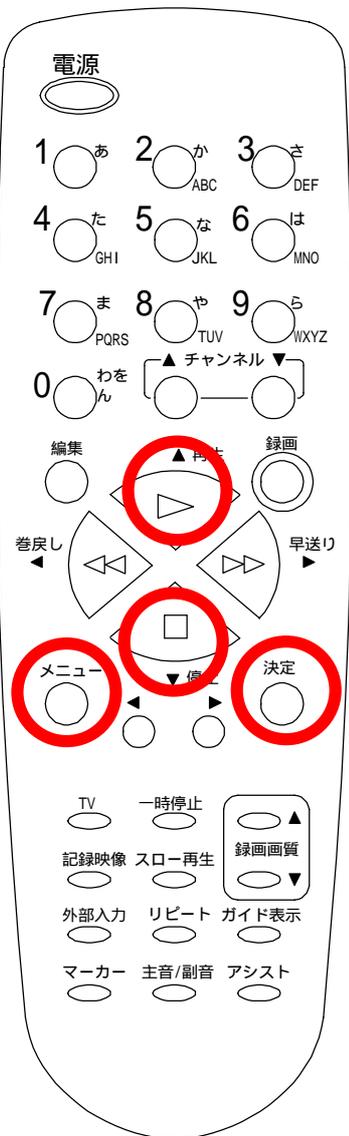
2 [(再生)] [(停止)]キーで「DVDディスク」を選び[決定]キーを押す

・「DVD ディスク」メニューを表示します



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ファイルコピー」を選び[決定]キーを押す

・「ファイルコピー」画面を表示します。



4 [(再生)] [(停止)]キーでコピーしたいファイルを選び[決定]キーを押す

- ・”選択ファイルのコピーします。よろしいですか?”のメッセージを表示します。

5 コピーをする場合には[決定]キーを押す

- ・選択したファイルをロクラクにコピーします。†2、3、4、5
コピー中は「只今、処理中です。しばらくお待ち下さい。」のメッセージを表示すると共に、ロクラクのフロントパネルに処理の状況をパーセント表示します。(100からカウントダウンし、0になるとコピーを完了します。)

コピーを実行しない場合には、[メニュー]キーを押してください。

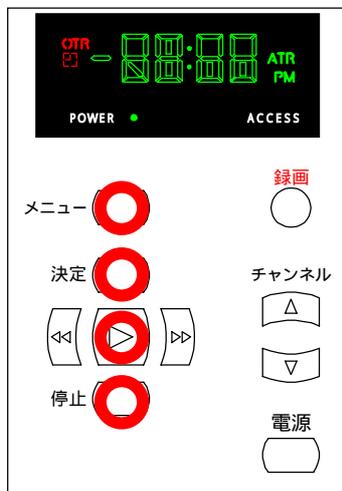
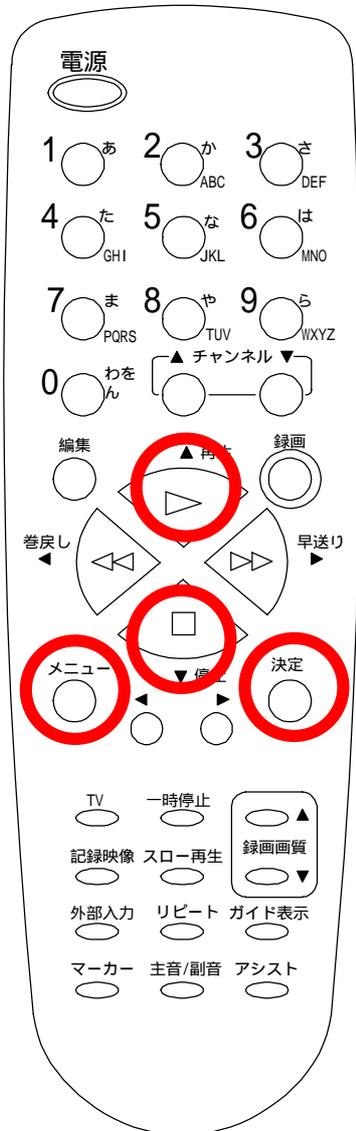
- †1 コピーできるファイルの最大サイズを確認するには、「DVD ディスク」メニューから「ファイル削除」を選んでください。「ファイル削除」画面の右上に「残り容量」を表示します。(確認が済んだら、[メニュー]キーを押して終了してください。)
- †2 コピーを途中で中断したい場合には、[メニュー]キーを押してください。(コピー作業を中断します。途中までコピーしたコピー先ファイルは、自動的に削除されます。メディアに記録されたファイル(コピー元)は削除されません。)
- †3 コピーしようとしたファイルと同じファイル名のファイルがロクラク側に存在した場合には、”同名のファイルが存在するため、コピーできません”のメッセージを表示します。この場合には、まず、ロクラク側の同名ファイルのファイル名を変更した後、もう一度始めからコピー作業を実施してください。
- †4 ロクラクへコピー中は、本機の動作表示ランプが橙色に点灯します。(動作表示ランプが橙色の時はロクラクの電源、本機の電源を切ったり、本機の手動イジェクトホールを使いメディアを取り出したりしないでください。メディアの破損、本機故障の原因になります。)
- †5 コピー中は[イジェクト]ボタンは機能しません。

ロクラクのファイルをメディアにコピーする†1、2

ロクラクに記録されたファイルをメディアにコピーします。ただし、コピーを実行できるメディアは、そのロクラクでフォーマットしたDVD-RAM/Rのみです。また、1枚のメディアに記録できるファイル数はメディアの容量に余裕があった場合でも最大4ファイルまでです。

ご注意：

メディアをフォーマットしたロクラクでのみ操作できる機能です。メディアをフォーマットしたロクラク以外からは、ディスクIDの確認作業をしてもこの操作はできません。†3



1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



ロクラクに拡張DVD-RAM/Rユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「DVDディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「DVDディスク」の項目が表示されない場合は、本機が正常に認識されていません。

「拡張DVD-RAM/Rユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

2 [(再生)][(停止)]キーで「画像データベース(編集)」を選び[決定]キーを押す

・「サムネイル画面」を表示します。



3 [(再生)][(停止)][(巻き戻し)][(早送り)]キーでファイルを選び[決定]キーを押す

・「ファイルインフォメーション」が消え、「サムネイルメニュー」を表示します。



4 [(再生)][(停止)]キーで「ファイルコピー」を選び[決定]キーを押す

- ・コピー先選択を表示します。



5 [(巻戻し)][(早送り)]キーで「DVD」を選び[決定]キーを押す

- ・”選択ファイルのコピーします。よろしいですか?”と表示します。

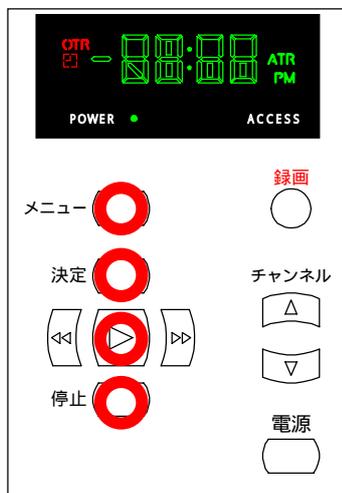
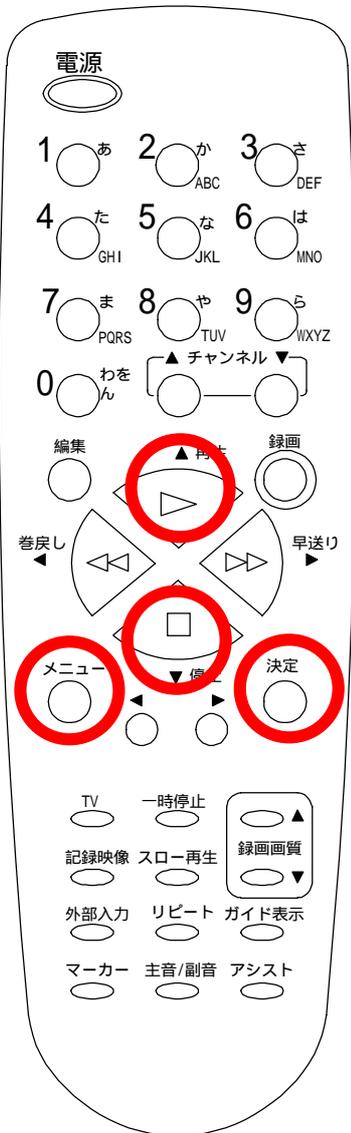
6 [決定]キーを押す†4、5、6

- ・コピーが開始され、画面に「只今、処理中です。」と表示されます。
コピーにかかる時間はファイルの録画時間(大きさ)の約1/5時間が目安です。コピーされたファイル名の先頭はCOPYになります。また、コピーされたファイルには「ファイルインフォメーション」の「ファイル設定」に、マークが付きます。
- ・コピーせず戻りたい時には、[メニュー]キーを押します。
- ・コピーが完了すると「サムネイル画面」に自動的に戻ります。

- †1 視聴(パスワード)制限が「する」になっているファイルのコピーは出来ません。
- †2 TYPE2のDVD-RAMは必ずカートリッジに入れた上でお使いください。
- †3 ディスクIDの確認がとれたメディアでも、ロクラクからメディアへのファイルコピー、メディアに記録されたファイルの削除はできません。この機能は、メディアをフォーマットしたロクラクでのみ実行できます。
「ライトプロテクトがされているため、できません。」のメッセージを表示し、何もしないで処理を終了します。
- †4 コピーの進行状況の確認：
コピー中は「只今、処理中です。しばらくお待ち下さい。」のメッセージを表示すると共に、ロクラクのフロントパネルに処理の状況をパーセント表示します。(100からカウントダウンし、0になるとコピーを完了します。)
- †5 コピーを中止するには：
コピーを途中で中止したい場合には、「メニュー」キーを押してください。ファイルコピーを中止し、「サムネイル画面」に戻ります。コピーを中止した場合には、コピーファイルは作成されません。(途中までコピーしたコピー先ファイルは、自動的に削除されます。)
- †6 メディアへコピー中は、動作表示ランプが橙色に点灯します。(ランプが橙色の時はロクラクの電源、本機の電源を切ったり、本機の手動イジェクトホールを使いトレイを取り出したりしないでください。メディアの破損、本機故障の原因となります。)

ロクラクの操作でメディアを取り出す

ロクラクから操作してメディアを取り出します。



1 [メニュー]キーを押す

- ・「ロクラク」メニューを表示します。



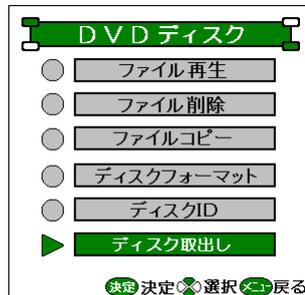
ロクラクに拡張 DVD-RAM/R ユニットの接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「DVDディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「DVDディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張 DVD-RAM/R ユニットの接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

2 [(再生)] [(停止)]キーで「DVDディスク」を選び[決定]キーを押す

- ・「DVDディスク」メニューを表示します



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ディスク取出し」を選び[決定]キーを押す

- ・トレイを排出します。^{†1, 2}

†1 この操作をしてもトレイを排出しない場合には、「メディアを取り出す」の頁を参照して取り出してください。

†2 カートリッジなしの DVD-RAM の場合には、DVD-RAM の中央の穴と外側を指ではさむようにし、記録面に触れないように取り出してください。

メ モ



株式会社 日本デジタル家電



0120-498-798 <http://www.rokuraku.com>